

別表（第4条関係）

視覚障害者移動支援従事者養成研修 カリキュラム、講師要件等

科目名	時間	内容	講師要件
講義（共通科目） 6時間			
障害者福祉の制度とサービス	2	障害者福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する。 1. 障害者福祉の背景と動向 2. 障害者福祉の制度とサービス	・障害者福祉行政担当者 ・社会福祉士
ガイドヘルパーの制度と業務	1	ガイドヘルパーの制度と業務を理解する。 1. ガイドヘルパー制度 2. ガイドヘルパーの業務	・障害者福祉行政担当者 ・介護福祉士 ・ガイドヘルパー（実務経験3年以上）
ホームヘルプサービスにおける権利擁護	2	障害者の権利擁護及びホームヘルプサービスの役割と業務を理解する。 1. 障害者の権利擁護 2. ホームヘルプサービスの社会的役割 3. ホームヘルプサービスの制度と現状 4. ホームヘルプサービス業務と基本	・介護福祉士 ・社会福祉士 ・ホームヘルパー（訪問介護員（障害者（児）ホームヘルパー養成研修）1級課程修了者であること。）
ホームヘルパーの職業倫理	1	ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する。 1. 福祉業務従事者としての倫理 2. ホームヘルプサービスにおいてとるべき基本的態度	
講義（障害別科目） 9時間			
障害・疾病の理解（視覚障害）	2	業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する。 1. 視覚障害者数 2. 視覚障害についての理解 3. 視覚障害の原因疾病・症状・治療 4. 見えの構造 5. 移動介助の際の留意点	・眼科医師 ・保健師 ・看護師 ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
障害者の心理（視覚障害）	1	障害者の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。 1. 先天性障害と中途障害 2. 障害者の心理と人間関係	・心理判定員 ・臨床心理士
情報支援と情報提供	2	移動中に必要な情報支援・情報提供の基礎を習得する。 ・言葉による情報提供の基礎 ・移動中の口頭による情報支援 ・状況や場面別での情報提供	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
代筆・代読の基礎知識	2	情報支援としての代読・代筆の方法を習得する。 ・代筆 ・代読 ・点字、音訳の基礎	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
移動支援の基礎知識（視覚障害）	2	移動支援の目的と機能を理解し、基本原則を把握する。 1. 視覚障害者への接し方 2. 視覚障害者の社会参加 3. 視覚障害者の行動技術 4. 言葉による情報提供の基本	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員

		5. 移動支援の留意点 6. 歩行に関係のある補装具・用具の知識	
実習 9時間			
移動支援の基本技術（視覚障害）	2	疑似体験をしつつ、基本的な移動支援の技術を習得する。 1. 基本姿勢 2. 危険な移動支援 3. 基本姿勢の変形 4. 狭い場所の通り抜け 5. 方向転換（1）	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験 3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
		6. 方向転換（2） 7. サイド（左右）の位置交代 8. 押しドアの通行 9. 引きドアの通行 10. 引き戸の通行 11. 背あてのある椅子への着席 12. 背あてのない椅子への着席 13. 移動支援中一時的にガイドヘルパーと視覚障害者が離れる場合	
屋内の移動支援（視覚障害）	2	疑似体験をしつつ、屋内での移動支援の技術を習得する。 1. 階段を上る方法 2. 階段を下る方法 3. 手すりを使って視覚障害者が自分で階段を下りる方法 4. 白杖を持っている場合の基本姿勢 5. 白杖を持っている場合に階段を上る方法 6. 白杖を持っている場合に階段を下る方法 7. トイレの利用 8. テーブルオリエンテーション	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験 3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
屋外の移動支援（視覚障害）	4	疑似体験をしつつ、屋外での移動支援の技術を習得する。 1. 屋外歩行の心がけ 2. エスカレーターを上る方法 3. エスカレーターを下る方法 4. 自動車に乗り込む方法 5. 自動車から降りる方法 6. 駅の改札 7. 電車に乗る方法 8. 電車から降りる方法 9. バスに乗る方法 10. バスから降りる方法	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験 3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
応用技能（視覚障害）	1	複数の視覚障害者をガイドする場合などの応用技能を習得するとともに、ガイドヘルパーとしての全体像を把握する。 1. らせん階段や不規則な階段の昇降 2. 雨の日のガイド 3. 混雑した場所での移動支援	・ガイドヘルパー（視覚障害者についての実務経験 3年以上） ・歩行指導員 ・視覚障害者生活指導員
計	20		

全身性障害者移動支援従事者養成研修 カリキュラム、講師要件等

科目名	時間	内容	講師要件
講義（共通科目） 6時間			
障害者福祉の制度とサービス	2	障害者福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する。 1. 障害者福祉の背景と動向 2. 障害者福祉の制度とサービス	・障害者福祉行政担当者 ・社会福祉士
ガイドヘルパーの制度と業務	1	ガイドヘルパーの制度と業務を理解する。 1. ガイドヘルパー制度 2. ガイドヘルパーの業務	・障害者行政担当者 ・介護福祉士 ・ガイドヘルパー（実務経験3年以上）
ホームヘルプサービスにおける権利擁護	2	障害者の権利擁護及びホームヘルプサービスの役割と業務を理解する。 1. 障害者の権利擁護 2. ホームヘルプサービスの社会的役割 3. ホームヘルプサービスの制度と現状 4. ホームヘルプサービス業務と基本	・介護福祉士 ・社会福祉士 ・ホームヘルパー（訪問介護員（障害者（児）ホームヘルパー養成研修）1級課程修了者であること。）
ホームヘルパーの職業倫理	1	ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する。 1. 福祉業務従事者としての倫理 2. ホームヘルプサービスにおいてとるべき基本的態度	
講義（障害別科目） 6時間			
障害・疾病の理解（全身性障害）	1	業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、介助に必要な状態像を把握する。 1. 肢体不自由者（児）の原因疾患（脳性まひ、脳血管障害、頸椎損傷など）及び症状の理解 2. 肢体不自由者（児）の社会参加 3. 移動支援の際の留意点	・医師 ・保健師 ・看護師 ・生活指導員 ・介助職員 ・理学療法士 ・作業療法士 ・介護福祉士
介助に係る車いす及び装具等の理解	1	移動支援に必要な車いすや装具等について知識を深め、それらの機能を把握する。 1. 車いすの構造と機能 2. 電動車いすの構造と機能 3. 重度肢体不自由者用車いすの構造と機能 4. 装具や自助具等の機能	・医師 ・作業療法士 ・義肢装具士
障害者の心理（全身性障害）	1	障害者の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。 1. 障害者の心理と人間関係 2. 肢体不自由者の心理的特徴	・心理判定員 ・臨床心理士
移動支援にあたっての基礎知識（全身性障害）			
（ア）姿勢保持について	1	良好な姿勢保持の必要性を理解するとともに、その方法を習得する。 1. 良好な姿勢の必要性 2. 良好な姿勢保持の方法 3. 姿勢保持の留意点	・ガイドヘルパー（全身性障害者についての実務経験3年以上） ・理学療法士 ・作業療法士

(イ) コミュニケーションについて	1	言語障害についての理解を深め、言語障害のある人への接し方を習得する。 1. 言語障害の理解と特徴 2. 言語障害がある人への接し方	・医師 ・言語療法士
(ウ) 事故防止に関する心がけと対策	1	事故防止のための方法や事故が起きた時の対応方法を習得する。 1. 事故防止のための移動の留意点 2. 事故時の対応 3. 安全な食事介護 4. 介助者自身のからだの保護	・ガイドヘルパー（全身性障害者についての実務経験3年以上） ・保健師 ・救命救急士
実習 4時間			
移動支援の方法（全身性障害）	3		
(ア) 抱きかかえ方及び移乗の方法		車いすへの移乗に際しての抱きかかえ方や移乗の方法等を習得する。 1. 床と車いす間の移乗 2. ベッドと車いす間の移乗 3. 2人の介助者で行う場合	・ガイドヘルパー（全身性障害者についての実務経験3年以上） ・理学療法士 ・作業療法士 ・保健師
(イ) 車いすの移動支援		車いすでの移動を介助する場合の車いすの取扱い方や平地、階段での移動方法などを習得する。 1. 車いすの取り扱い方 2. 車いすの移動支援における注意（雨の日） 3. 平地での移動 4. 階段における移動 5. エレベーター、エスカレーターの利用 6. 乗り物を利用する場合の注意 7. 歩行移動介助方法の留意点	・生活指導員 ・身体障害者支援施設職員
生活行為の介助	1	外出時に排泄、食事、衣服の着脱を行う際に安全な介助方法を習得する。 1. 食事の介助方法 2. 衣服着脱の介助方法 3. 排泄の介助方法	・ガイドヘルパー（全身性障害者についての実務経験3年以上） ・理学療法士 ・作業療法士 ・保健師
計	16		

知的障害者移動支援従事者養成研修 カリキュラム、講師要件等

科目名	時間	内容	講師要件
講義（共通科目） 6時間			
障害者福祉の制度とサービス	2	障害者福祉の制度とサービスの種類、内容、役割を理解する。 1. 障害者福祉の背景と動向 2. 障害者福祉の制度とサービス	・障害者行政担当者 ・社会福祉士
ガイドヘルパーの制度と業務	1	ガイドヘルパーの制度と業務を理解する。 1. ガイドヘルパー制度 2. ガイドヘルパーの業務	・障害者行政担当者 ・介護福祉士 ・ガイドヘルパー（実務経験3年以上）
ホームヘルプサービスにおける権利擁護	2	障害者の権利擁護及びホームヘルプサービスの役割と業務を理解する。 1. 障害者の権利擁護 2. ホームヘルプサービスの社会的役割 3. ホームヘルプサービスの制度と現状 4. ホームヘルプサービス業務と基本	・介護福祉士 ・社会福祉士 ・ホームヘルパー（訪問介護員（障害者（児）ホームヘルパー養成研修）1級課程修了者であること。）
ホームヘルパーの職業倫理	1	ホームヘルプサービスに従事する際の職業倫理について理解する。 1. 福祉業務従事者としての倫理 2. ホームヘルプサービスにおいてとるべき基本的態度	
講義(障害別科目) 5時間			
障害・疾病の理解（知的障害）	2	業務において直面する頻度の高い障害・疾病を医学的、実践的視点で理解するとともに、援助の基本的な方向性を把握する。 1. 知的障害についての理解 2. 知的障害となる主な原因 3. 知的障害者とのかかわり方、社会参加	・医師 ・保健師 ・看護師
障害者の心理（知的障害）	1	障害者の心理に対する理解を深め、心理的援助のあり方について把握する。 1. 先天性障害と中途障害 2. 障害者の心理と人間関係 3. 家族理解の基本	・心理判定員 ・臨床心理士 ・社会福祉士
移動支援の基礎知識（知的障害）	2	移動介助の目的と機能を理解し、基本原則を把握する。 1. 援助の視点 2. 援助者の心がまえ 3. 援助の具体的方法	・ガイドヘルパー（知的障害者についての実務経験3年以上） ・介護福祉士
実習 8時間			
移動支援の基本技術（知的障害）	8	疑似体験をしつつ、基本的な移動介助の技術を習得する。	・ガイドヘルパー（知的障害者についての実務経験3年以上） ・介護福祉士 ・知的障害者支援施設職員
計	19		